

週間漁海況情報—第16号

平成24年4月23日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/>で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

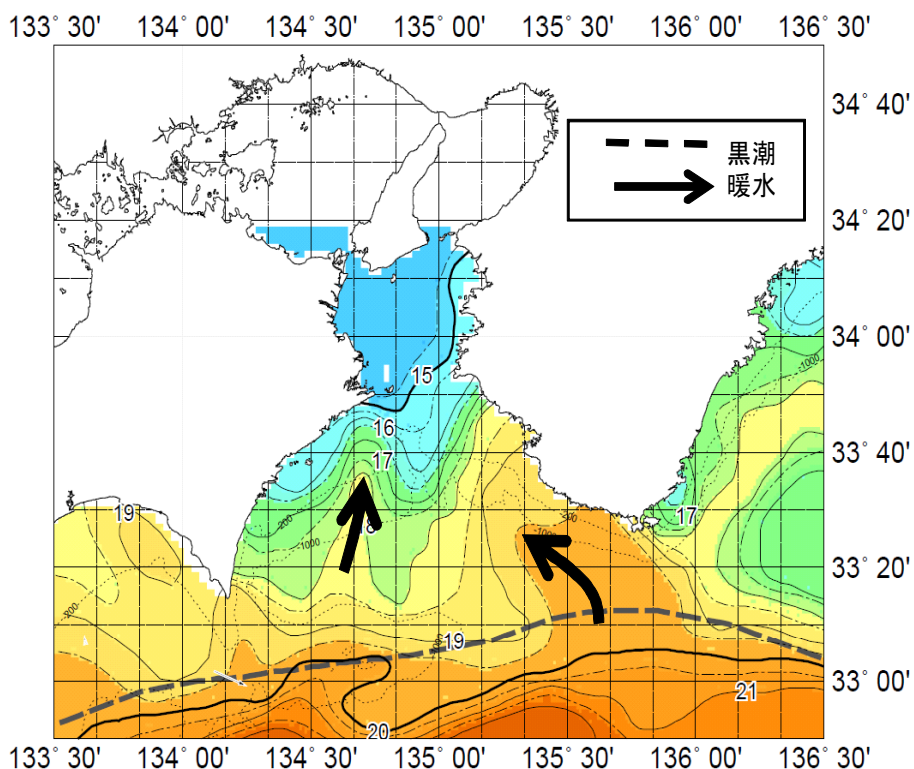
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H24.4.23)を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で12～14℃台、紀伊水道で12～15℃台、海部沿岸で14～18℃台である。

海部沿岸では、内海系水の南下がみられ、16℃以下の内海系水に覆われている。紀伊水道外域では室戸岬東方海域から18℃台の黒潮系暖水の流入がある。



播磨灘海区観測結果

| 観測日 | | 水温 | | | | 塩分 | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 表層 | 10m | 20m | 30m | 表層 | 10m | 20m | 30m |
| 4/19 | 今年値 | 13.3 | 11.6 | 11.0 | 10.5 | 31.7 | 31.9 | 31.9 | 31.9 |
| | 平年偏差 | 2.0 | 1.1 | 0.6 | 0.3 | -0.9 | -0.7 | -0.7 | -0.8 |
| | 前年偏差 | 1.4 | 0.7 | 0.3 | 0.3 | 31.7 | 31.9 | 31.9 | 31.9 |

漁業調査船「とくしま」で4月19日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層で「高め」の13.3℃、10m層及び20m層で「やや高め」の11.0～11.6℃、30m層で平年並みの10.5℃であった。

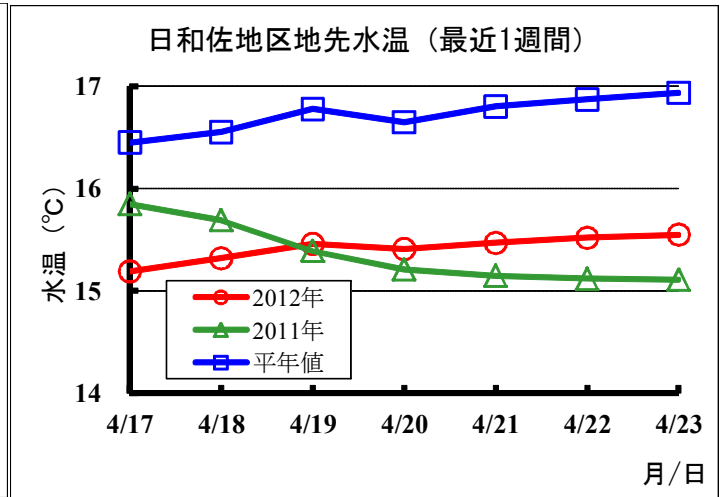
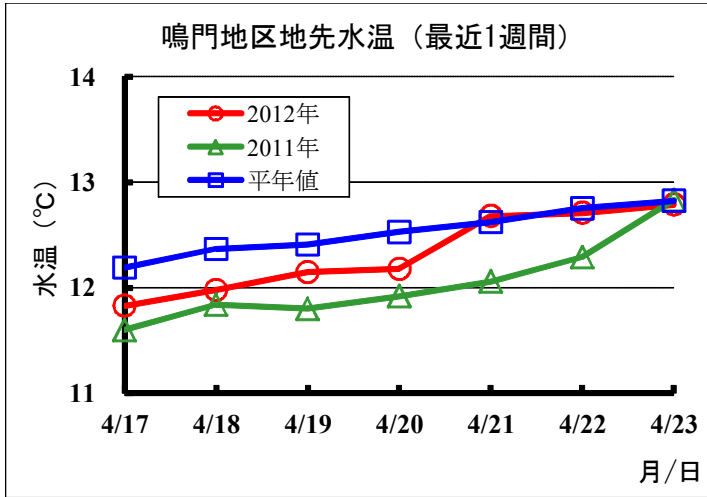
地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」の11.8～12.8℃、日和佐地区で「やや低め」の15.2～15.6℃、牟岐地区は「かなり低め」～「低め」の14.5～15.3℃で推移した。(図は次ページに掲載)

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で及び潮岬沖で「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の13℃台、日和佐地先は「やや低め」の15℃台で推移する見込み。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上



2. 漁況の経過

建網：海部沿岸でブリが0.4トン（1日1隻当たり15kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、キビナゴが0.4トン（同21kg）、サバ類が小小主体に21.6トン（同423kg）、メジナが4.3トン（同74kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、中主体にイシダイが0.3トン（同55kg）、中主体にクロダイが1.2トン（同240kg）、ブリが1.3トン（同254kg）、メジロが1.6トン（同317kg）中主体にマダイが0.5トン（同98kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが4.7トン（同95kg）、マサバが4.3トン（同135kg）、メジロが14.8トン（同58kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが119.5トン（同830kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 4月16日～4月22日

県下6漁協から聞き取り

| 漁業種類 | 漁獲海域 | 魚種 | 延べ出漁隻数 | 漁獲量(kg) | 1日1隻当たり漁獲量(kg) | 銘柄・その他 |
|-------|------|-------|--------|---------|----------------|--------|
| 建網 | 海部沿岸 | ブリ | 27 | 414 | 15 | |
| 小型定置網 | | キビナゴ | 17 | 351 | 21 | |
| | | サバ類 | 51 | 21,576 | 423 | 小小主体 |
| | | メジナ | 58 | 4,288 | 74 | |
| | | 大型定置網 | イシダイ | 5 | 273 | 55 |
| クロダイ | | | 5 | 1,201 | 240 | 中主体 |
| ブリ | | | 5 | 1,271 | 254 | |
| メジロ | | | 5 | 1,586 | 317 | |
| マダイ | | | 5 | 489 | 98 | 中主体 |
| 釣り | | | カツオ | 49 | 4,654 | 95 |
| | マサバ | 32 | 4,334 | 135 | | |
| | メジロ | 256 | 14,813 | 58 | | |
| パッチ網 | 紀伊水道 | シラス | 144 | 119,500 | 830 | |

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年4月18～24日の海部沿岸では、小型定置網でアオリイカが0.3トン、小小主体でゴマサバ主体のサバ類が1.4トン、小主体にスルメイカが0.3トン、小小主体にマアジが3.1トン、マイワシが6.3トン、大型定置網で大主体にアオリイカが0.4トン、イワシ類が3.1トン、中主体にクロダイが0.3トン、小主体にスルメイカが0.6トン、ブリが10.8トン、メジロが1.4トン、中主体にハマチが2.9トン、大主体にマアジが1.6トン、小主体にマサバが0.3トン、中主体にマダイが0.3トン、マルソウダが0.6トン、釣りでタチウオが0.5トン、中主体にメジロが0.5トン、紀伊水道では、釣りで特大・大主体にタチウオが0.3トン水揚げされた。